

メグスリノキ

Acer nikoense Maxim.

カエデ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

落葉高木で、高さ10～15mになる。3出複葉を対生し、小葉の裏面、脈上には粗毛が多い。葉柄、若枝にも開出粗毛を密生する。花序は散形状で、花は6数性、淡黄緑色。雌雄異株。

国内分布

本州(宮城県以南)、四国、九州。

県内分布

外浦区、内浦区、口能登区、南加賀区。

生態など

花期は5月。葉の展開とほぼ同時に開花する。翼果は直角～鈍角に開き、8～10月に熟す。樹皮や葉を煎じて飲むと、目の疲労回復や肝機能回復に効果があると言われる。

生育環境

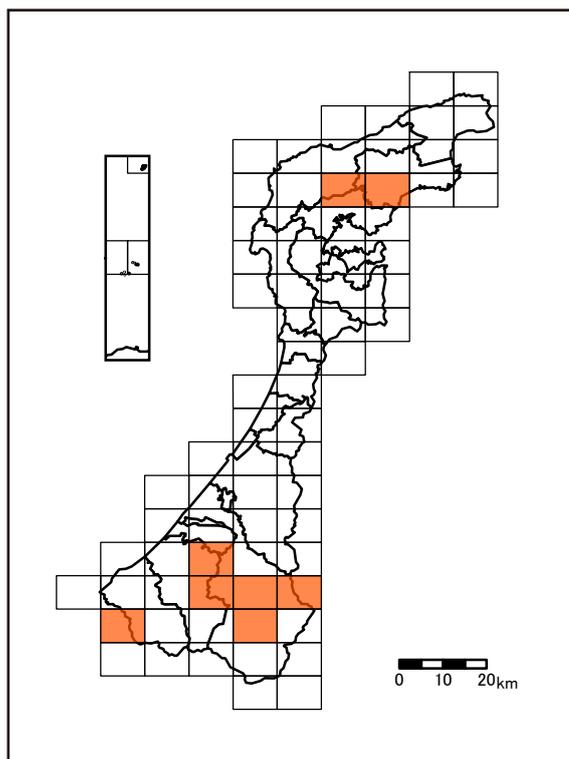
山地の谷間や山腹。

危険要因

森林伐採、道路工事、薬用採取、管理放棄、自然遷移、産地局限。



林 二良・2005年6月19日・内浦・(葉) 白井伸和



県内の分布